

2023. 12. 7

静岡銀行初！ 蜷塚支店の改修により「ZEB^{ゼブ}認証」を取得

静岡銀行（頭取 八木 稔）では、しずおかフィナンシャルグループの第1次中期経営計画「Xover ～新時代を拓く～」で掲げるサステナビリティ指標の1つである「静岡県内の温室効果ガス排出量の削減（2030年度までに46%削減<2013年度比>）」に向けて、地域ぐるみでの脱炭素化の実現に取り組んでいます。また、こうした活動を一層加速させるため、2030年度までにグループにおけるカーボンニュートラル(Scope1、2)を達成する目標を設定し、積極的に省エネ設備や再生可能エネルギーの導入を推進しています。

今般、改修工事を実施した蜷塚支店において、建築物省エネ法にもとづき環境省が推奨する「ZEB Ready 認証(一次エネルギー年間消費量を50%以上削減する建物)」を取得しましたので、その概要をご案内します。

なお、店舗の改修による ZEB 認証の取得は、静岡県内金融機関では初となります。

※「ZEB」とは、Net Zero Energy Building の略称で、快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることをめざした建物を指す。基準一次エネルギーの削減量に応じて、「ZEB」「Nearly ZEB」「ZEB Ready」「ZEB Oriented」の4つに区分される



1. 蜷塚支店の改修について

(1) 蜷塚支店の概要

- 住所／静岡県浜松市中区鴨江 3-53-20
- 建物／鉄骨 2 階建て<2018 年(平成 30 年)5 月竣工>
- 建築面積／351.51 m² (106.3 坪)
- 延床面積／492.17 m² (148.9 坪)

(2) 改修内容

- 空調設備の高効率化 (空調機・全熱交換器の更新)
- 日射遮蔽性の高度化 (ブラインド設置) など



▲改修後の蜷塚支店

2. 認証取得の背景、目的について

- 国、静岡県ともに 2050 年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現をめざす活動を推進するなか、静岡銀行でも地方公共団体などと連携しながら地域全体での脱炭素化に向けたさまざまな施策を展開しています。
- 本件は、静岡銀行における省エネ施策の1つとして、蜷塚支店の改修時に ZEB 化を推進し、「ZEB Ready 認証」を取得したものです。
- 今後も、持続可能な社会の構築に向けて、企業活動のあらゆる面で環境に配慮した継続的な取り組みを実践するとともに、これまで培った知識やノウハウなどを地域に還元し、カーボンニュートラルな地域社会の実現に貢献してまいります。